申請者氏名　　　　日本一郎

業　績　目　録

項目毎に，最新のものから順に記載すること

著者名は全員を記載すること

原著論文、症例報告に関しては本学会でその内容を発表した場合には、以下のように記載する。

1. 日本一郎，山田太郎：COPDにおける骨格筋機能障害に関する研究．日本呼吸会誌20:200-207, 2018（2019年学術集会 一般演題にて発表）.

Ⅰ．著　書

（欧文）（単著，分担の別を明記）

１．Nihon I: Comparative …... in ○○○, ed by Alan, N.C . Futura Publishing Inc, 50-78, 1989. (米国)，（分担）

２．Nihon I and Yamada T : Pathophysiologic bases and ….. . in ○○○　ed by ○○ and △△, Excerpta … ,191-196,2000.（オランダ），（分担）

（邦文）（単著，分担、編集の別を明記）

１．日本一郎： 楽しく学ぶ呼吸リハビリテーション．○○△社，東京，p400(総ページ数), 2000．（単著）

２．日本一郎：肺高血圧症の薬物療法．　○△○△（編）：呼吸器疾患の最新治療．p500. ○○△社，（東京）pp.25-30, 2000．（分担）

３．日本一郎、山田太郎（編集）：呼吸器疾患の最新治療．P500（総ページ数）．○○△社，

（東京）, 2000．

Ⅱ．原　著

（欧文）

１． Nihon I, Yamada T, Yoshida Y: Relation of ……….. in chronic obstructive pulmonary disease. N Engl J Med, 308:1045-1049,1983.（米国）

（邦文）

１．日本一郎，山田太郎：○○法による呼吸機能の遺伝学的研究．日本呼吸ケア・リハビリテーション学会雑誌 20:200-207, 2011.

2. 日本一郎，山田太郎：COPDにおける骨格筋機能障害に関する研究．日本呼吸会誌20:200-207, 2018（2019年学術集会 一般演題にて発表）

Ⅲ．綜　説

（欧文）

（邦文）

１．日本一郎，山田太郎：○○と○○．呼と環 40:869-875, 2010.

２．日本一郎：呼吸リハビリテーション．内科 66:1700-1773, 1990.

Ⅳ．症例報告

（欧文）

１． Nihon I, Yamada T: A case of ….. Am J Respir Crit Care Med 168:3215-3220, 2010.

（邦文）

１．日本一郎，山田太郎： ○○を合併し，胸部レ線写真で．．．．の一例．日胸疾会誌 40:1037-1040, 2008.

ⅴ．院内誌

1. 日本一郎，山田太郎：心不全に対する．．．．．．． ．○○市立病誌　10:79-83, 1995.

Ⅵ．報告書

（欧文)

（邦文）

Ⅶ．その他 （座談会，テキスト，紀要など）

（欧文)

１． Nihon I, Yamada T : Experience at ….. Medical Imaging 4 (Proceedings) : 2000-2010, 2011.

（邦文）

１．日本一郎，山田太郎：○○は役にたつか（座談会）．呼吸 18:2000-2010, 2011.

２．日本一郎：呼吸リハビリテーションの実際．第○回呼吸療法セミナーテキスト: 2000-2010, 2011.

Ⅷ．学会発表（国際学会，国内学会）シンポジウム，ワークショップ，一般

申請者が日本呼吸ケア･リハビリテーション学会学術集会（地方会も含む）で発表してい

る場合は，必ず記載すること．国内学会は，原則，全国的な学会．

シンポジウム

１． Nihon I, Yamada T : Important role of ．．．．.　 Federation of American Societies for Experimental Biology and Guest Societies, Las Vegas, USA, 2008.5.

２．日本一郎，山田太郎：慢性呼吸不全とリハビリテーション．第20回日本呼吸ケア･リハビリテーション学会，シンポジウム「呼吸リハビリテーション」　松本，2011．11

ワークショップ

１．

一般演題

1． 日本一郎，山田太郎：COPDにおける骨格筋機能障害に関する研究．第29回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会，名古屋．2019．11